医療

情報収集シート 療養支援アセスメントシート



2025年3月

厚生労働行政推進調査事業費補助金(エイズ対策政策研究事業) 非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の 長期療養体制の構築に関する患者参加型研究

研究代表者 藤谷 順子 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院) 研究分担者 大金 美和 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 ACC) 研究協力者 大杉 福子 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 ACC)

医療 情報収集シート

服薬アドヒアランス □ 良 □ 不良(理由:

※情報収集シートの▲~■は裏面の療養支援 年 月 日 記入日: 記入者: アセスメントシート▲~■に対応する情報です。 身長: cm I D 男・女 生年月日 年 月 日 (歳) 体重: kg 患者氏名 BMI: アレルギー:無・有() 喫煙: 無·有(本/日、喫煙歴: 年) 飲酒:無・有(種類と量: 回/调) ▲ 血液凝固異常症 受診頻度: 回 / 週・ 月 備考 病院名: 通院履歴: <関節の状態> 診療科: TEL: 出血、痛み、拘縮などを記入 担当医師: 担当看護師/HIVコーディネーターナース: 薬局名: 診断時期: □ 血友病 A □ 血友病 B □ その他 () □ インヒビター (有・無) □ (重·中等·軽) 症 □ 因子活性 出血しやすい部位: 出血頻度: 使用製剤名と 1 回に使用する投与量(単位数又は mg)、投与頻度(曜日など)を記入 □ 定期補充療法: □ 出血予防療法(抗体製剤): □ 出血時補充療法: 注 □ 自己注射 □ 家族() □ 医療機関(緊急受診先 □ 訪問看護() □ その他() □有() □ 製剤投与記録あり:使用ツール() □ 無 □ 検討中 ■ 肝炎 受診頻度: 回/ 週・ ヵ月 備考 病院名: 通院履歴: 診療科: 担当医師: 担当看護師: □ B型 □ C型(ジェノタイプ: □ 自然治癒 □ 慢性肝炎 □ 肝硬変 □ 肝癌(Child-Pugh 分類 点(□ A □ B □ C) □ 食道静脈瘤あり (□ 結紮術 □ 硬化療法) 年 月 □ 腹水 □ その他 <最終検査時期> □ 腹部 CT 年 月 □ 腹部エコー 年 月 年 月 □ アシアロシンチ 年 月 □ 上部内視鏡 □ フィブロスキャン □ 下部内視鏡 抗ウイルス 🗌 IFN: →□SVR \square DAA : →□SVR 年 月 その他治療 □ () 癌治療 □ 部分切除術: 年 月 ☐ TACE 年 月 □ ラジオ波 年 月 □ 化学療法 年 月 年 月 □ その他 年 □ 重粒子線治療 月 移 植 □生体 年 月 🗌 脳死 年 月 (□登録済 年 月 □検討中) 備考 HIV 感染症 受診頻度: 週・ ヵ月 回 / 病院名: 通院履歴: (例) 生活時間と服薬スケジュール 診療科: 7時8時 12時 18時 23時 TEL: 担当看護師/HIVコーディネーターナース: 担当医師: MSW: 心理療法士: 平日と休日、複数のシフトなど 薬局名: 異なる生活パターンを記入のこと。 感染告知時期 歳 □ 医師から □ 家族(HIV 感染症診断日 病期 □ AC □ AIDS(診断名: /μI HIV-RNA 量= 最終 CD4 数= □ 薬剤名と服薬回数: 抗 HIV 療法 □ 未治療

「日本語の	整形外科/リハビリテー	・ション科						備	考
公認報信(状形:	病院名	TEI	_:					<手術部位>	>術式記入
一手商店 1人以 1	担当医師 (整形外科):	担当医師 (リハ	(科):		PT / O	T:			
青年曜日 人工関節無操物 ()		
□ 開発 (□ 関節可収域 □ 京本を作 □ 販力内担 (□ 日本日本	I .		リハ科:)	(1	
□ 以上 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一		(関節	節) □ 滑膊	以除術	(首) 	\bigcup	U
□ JUNE U 株容会が加度あり □ 日エトレ 巻等(□ (□ 原列×ニューあり)									
内分泌代謝内科 受診頻度: 回/ 週・カ月 備 考									
病院名 20当医師: TEL:						ニューあり)			<i></i>
受診理由(回/						考
治療 内限 (担当医師:			TEL:		_		
□ 四種別定(回 / 日) □ 長週記録	 								
保養相談) ∟	」インス	リン(
解検名 担当医師: TEL:									
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##)	□ ノットケア			
受診理由		2 477 27702	四 /					備	考
治療		担当医即:_			IEL.		_		
透析 透析回数: 回 / 週				Z					
病院名 担当医師: TEL: 受診理由())		透析回数:			TE ()		
受診理由(TEI ·				
透析開始日(年 月 1 1 2 2 2 2 3 4 4 4 2 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4		1572			166.)		
************************************		目)							
循環器内科 受診頻度: 回/ 週・カ月 備 著			kø)						
病院名 担当医師: TEL: 受診理由(週・	カ月				
受診理由(<u> </u>	5
治療 □ 内服 () □ その他 () 向正測定 □ 平均 / mmHg □ 自己測定 (□ 経過記録) 消化器内科 (肝炎以外) 受診頻度: 回 / 週・カ月・年 備 考)					
治療 □ 内服 () □ その他 () 向正測定 □ 平均 / mmHg □ 自己測定 (□ 経過記録) 消化器内科 (肝炎以外) 受診頻度: 回 / 週・カ月・年 備 考		- □ 冠動脈 CT	□ 冠動	 脈造影					
消化器内科(肝炎以外) 受診頻度: 回/ 週・カ月・年 備 考					他()		
病院名 担当医師: TEL: 受診理由()) つその他()) 歯科 受診頻度: 回/ 週・カ月・年 備 考 病院名 担当医師: TEL: 拡歯等額血処置の実施施設 □同上 □その他: 受診理由()) 様 精神科 受診頻度: 回/ 週・カ月 備 考 病院名 担当医師: TEL: 担当心理療法士: 受診理由()) は	血圧測定 🗌 平均 📁 /	mmHg 🗌 自己測	定 (□ 経過	記録)					
受診理由() □ その他() □ 巻類度: □ / 週・カ月・年 備 考 病院名 担当医師: TEL: 拡歯等観血処置の実施施設 □ 同上 □ その他: 受診理由()	消化器内科(肝炎以外)	受診頻度:	回 /	週・	ヵ月	・年		備	考
治療	病院名	担当医師:			TEL:				
	受診理由()		
病院名 担当医師: TEL:)	□その	他()		
技歯等観血処置の実施施設 □ 同上 □ その他: 受診理由 (し 歯科	受診頻度:	回 /			・ 年		備	考
受診理由()	·····				TEL:				
精神科 受診頻度: 回/ 週・カ月 備 考 病院名 担当医師: TEL: 担当心理療法士: 受診理由(抜歯等観血処置の実施施設 [□ 同上 □ その他	<u>b</u> :						
病院名 担当医師: TEL: 担当心理療法士: 受診理由()) 治療 □ 内服() □ その他() での他() でありに、	受診理由()		
担当心理療法士: 受診理由() 治療 □ 内服() □ その他() での他() での他() での他() での他() での他() であり □ での他() であり □ ではばたき □ MARS) でいます。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	人 精神科	受診頻度:	回/	週・	ヵ月			備	考
受診理由(病院名	担当医師:			TEL:				
治療 □ 内服 () □ その他 () 受診頻度: 回 / 週・カ月・年 備 考	担当心理療法士:								
その他() 受診頻度: 回/ 週・カ月・年 備考 嫌 薬害被害救済の個別支援¹) / 検診・治験・研究参加 報告書データの提供 備考 □同意なし □同意あり □ 患者支援団体(□はばたき □ MARS) の報告書(健康状態報告書・生活状学報告書)のコピーを患者の同意のもと、支援団体や医療機関に提出し個別支援を設定して、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	受診理由(
▼書被書救済の個別支援¹⁾ / 検診・治験・研究参加	治療 □ 内服 ()	□その	他()		
報告書データの提供 □ 同意なし □ 同意あり □ 患者支援団体 (□ はばたき □ MARS) □ 同意なし □ 同意あり □ 本CC □ ブロック拠点病院 () 支援団体や医療機関に提出し個別支援 に活用される。	その他() 受診頻度:	回 /	週・	ヵ月	・年		備	考
報告書データの提供 □ 同意なし □ 同意あり □ 患者支援団体 (□ はばたき □ MARS) □ 同意なし □ 同意あり □ 本C □ ブロック拠点病院 () 支援団体や医療機関に提出し個別支援 に活用される。									
報告書データの提供 □ 同意なし □ 同意あり □ 患者支援団体 (□ はばたき □ MARS) □ 同意なし □ 同意あり □ 本C □ ブロック拠点病院 () 支援団体や医療機関に提出し個別支援 に活用される。									
報告書データの提供 □ 同意なし □ 同意あり □ 患者支援団体 (□ はばたき □ MARS) □ 同意なし □ 同意あり □ 本C □ ブロック拠点病院 () 支援団体や医療機関に提出し個別支援 に活用される。	M 茶中地中サネの個別士板	71) / 1	T 777 42 40					/ ‡±	=
□ 同意なし □ 同意あり □ 患者支援団体 (□ はばたき □ MARS) の報告書 (健康状態報告書・生活状挙報告書)のコピーを患者の同意のもと、支援団体や医療機関に提出し個別支援 はいっぱい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい		┊′′/ 快診・冶験・□	#究梦加				1)		
□ 同意なし □ 同意あり □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	刊口首ノーグの提供 	 串老支控団 <i>体(</i> □ /	 ナ/ギナーキ						
検診・治験・研究参加など2) □ な 、□ あり(どこで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 同意なし□ 同意あり□				13 <i>)</i> 		報告	書)のコピーを	患者の同意のもと、
	検診・治験・研究参加など2) □						, に活	用される。	
/ 2) 長崎大学病院肝検診や癌スクリー (何を:) ニング、遺伝子治療など。	IND AND MINDS MINOC								

医療 療養支援アセスメントシート

※情報収集シートの▲ 〜M の情報から、以下のA 〜M の患者目標に沿って、患者の課題を抽出し、その解決策を参考に患者のセルフマネジメントを支援しましょう。

	患者目標	課題	解決策
	自身の状態を 把握する	□ 血友病について知識不足 □ インヒビターについて知識不足 □ 輸注記録の未記入、出血の頻度、部位がわからない	○ 血友病の病態や治療に関する知識の習得 ○ インヒビターに関する知識の習得 ○ 輸注記録をつけ、受診時に報告できる
Δ	適切な治療を受け、 良好なコント ロールができる	□ 定期輸注が徹底されていない □ 自己注射ができない、または手技が適切でない □ 必要な製剤投与量がわからない	○ 適切な製剤投与量・頻度についての知識の習得 ○ 自己注射の手技 ○ 出血時の製剤投与量が判断できる
Α	緊急時、非常時の 対応への備えがある	□ 出血時の応急処置の基本がわからない □ 自己注射できない場合の支援者が不在である □ 夜間休日の緊急受診先が不明である	○ 出血時のケア(RICE: ライス)を習得する ○ 家族や訪問 Ns による輸注実施の調整 ○ 受診先の検討、連絡窓口の明確化
	予防的行動ができる	□ 出血頻度が減らない □ 運動量に応じて製剤投与できない □ 活動を過剰に制限し運動機能が弱っている	○ 日常生活活動についての見直し○ 運動量と製剤投与量、輸注頻度が適切か確認する○ 筋力増強、関節拘縮予防のリハビリ実施
	自身の状態を 把握する	□ 肝臓の状態について把握していない □ 定期検査が未実施(肝臓、食道静脈瘤の評価) □ 出血の不安による検査の未実施 □ 検査時の体位の保持、変換が困難	○ 肝臓の状態を十分把握する ○ 定期的な検査の必要性を理解する ○ 検査時の止血コントロールを十分に行う ○ 関節拘縮の状態を伝え、サポートを受ける
B	適切な治療を受け、 良好なコント ロールができる	□ 病状や治療方針に関する IC 不足 □ 先進医療に関する情報不足	○ 検査結果に基づく病態や治療方針の情報共有○ 先進医療に関する情報収集○ 移植や重粒子線治療等の先進医療の検討
C	自身の状態を 把握する	□ 免疫状態(CD4 数)の把握不足 □ 病状コントロール(HIV-RNA 量)に関する知識不足 □ 症状観察 有症状時の対処がわからない	○ 定期受診により定期検査(採血)をする ○ 定期検査による自身の状態把握 ○ 症状の早期発見、早期対処の方法がわかる
נ	適切な治療を受け、 良好なコント ロールができる	□ 服薬中の薬剤名や服薬方法がわからない □ 確実な服薬が遵守されない・服薬継続できない □ 定期受診できず処方不足	○ 治療について十分な情報を得て理解する○ 服薬方法・服薬行動の見直し○ 定期受診により確実に処方を受ける
D	活動性の維持・改善のため、整形外科リハビリを活用できる	□ 整形外科を受診したことがない □ リハビリテーション科を受診したことがない □ 関節の評価の必要性の理解不足 □ 受診したことはあるが、継続していない □ ADL の低下、生活の支障あり □ 症状へのあきらめ等、受診の必要性を感じない □ 装具・自助具の適用を検討したことがない	 ○ 整形外科、リハ科の受診調整 ○ 関節拘縮や筋力低下への予防行動の実施 ○ 日常生活動作の習得(負担軽減の工夫) ○ 他患者の例を参考に、前向きな気持ちを保つ ○ 血友病性関節症の外科的処置の適用を相談できる ○ 定期的な血友病性関節症の評価を目的に受診する ○ QOL 向上のメリットを知りイメージできる ○ 装具・自助具の検討 ○ リハビリ方法の習得
шш Оп —	併存疾患について 他科連携のもと、 適切な治療を受け、 良好なコント ロールができる	□ 病状や治療方針に関する IC 不足 □ 療養生活上の注意点(食事、運動など)の知識不足 □ 食事療法、運動療法ができない □ 服薬継続・定期受診ができない □ 自己測定(血圧、血糖等)ができない	○ 検査結果に基づく病態や治療方針の情報共有○ 療養上の注意点に関する知識の習得○ 他科多職種の指導による自己管理の習得○ 服薬方法・服薬行動の見直し○ 自己管理ができる方法を検討する
J	適切な歯科治療を 受けることができる	□ 定期検診を受けていない □ 受診に不安がある・受診先がない □ 口腔ケアが不十分である	○ 口腔内の保清、炎症予防、う歯を評価する ○ 病気を伝え安心し通院できる医療機関の確保 ○ 口腔ケア、指導につながる
K	精神科	□ 定期受診、服薬継続できない □ 症状の訴え、気持ちの不安定さがある	○ 睡眠状態や、精神状態を確認する ○ 受診や心理面接につながる
M	検診・研究参加	□ 一度も検診をうけたことがない □ 研究参加に関する情報がない	○ 各種検診の情報収集 ○ ACC /ブロック拠点病院等より情報を得る ○ ホームページなど最新情報を確認する

**このシートの活用方法や、このシートでヒアリングした症例の相談対応など、下記の各管轄のブロック拠点病院、又は ACC 宛にお問い合わせ下さい。

医療機関名	HIV コーディネーターナース	連絡先
北海道大学病院	渡部 恵子、熊谷 泰恵	TEL: 011-706-7025 HIV 相談室
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	佐々木晃子、鈴木佳奈子	TEL: 022-293-1111 感染症内科(内科 5)
新潟大学医歯学総合病院	新保明日香、知久 熙眞	TEL: 025-227-0841 感染管理部
石川県立中央病院	石井 智美、車 陽子	TEL: 076-237-8211 免疫感染症科
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	羽柴知恵子	TEL: 052-951-1111 感染症科
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	東 政美	TEL: 06-6942-1331 HIV 地域医療支援室
広島大学病院	坂本 涼子	TEL: 082-257-5351 エイズ医療対策室
独立行政法人国立病院機構九州医療センター	長與由紀子、犬丸 真司	TEL: 092-852-0700 AIDS/ HIV 総合治療センター
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 <mark>※</mark> エイズ治療・研究開発センター (ACC)	杉野 祐子、鈴木ひとみ	TEL: 03-5273-5418 ACC ケア支援室